2016年1月1日～2021年12月31日の間に 当科において掌蹠膿疱症(PPP)の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「掌蹠膿疱症の実態調査」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学皮膚科学 教授 青山 裕美
研究分担者 川崎医科大学皮膚科学 臨床助教 中元 健太

1. 研究の概要

掌蹠膿疱症は病巣感染、喫煙の危険因子で悪化し、合併症として骨関節炎を発症します。2016年から2021年に川崎医科大学附属病院を受診した掌蹠膿疱症の患者さんの危険因子、合併症、治療の実態を調査します。PAO(骨関節炎)を合併するPPP(掌蹠膿疱症)と合併しないPPPに違いがあるか検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016年1月1日から2021年12月31日の期間に当院皮膚科でPPP、PAOと診断され治療を受けた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2023年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において掌蹠膿疱症(PPP)の治療を受けられた方で、研究者が診療情報を元にデータ抽出し、調査します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、診療録、治療方法・治療歴、検査結果

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学皮膚科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年8月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 皮膚科

氏名：青山 裕美

電話：086-462-1111 平日：9時00分～17時00分

E-mail：yamaoyama@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。